

東レグループ サステナビリティ・ビジョン



わたしたちは、革新技术・先端材料の提供により、
世界的課題の解決に貢献します

サステナビリティ（持続可能性）は、21世紀の世界における最重要の共通課題だと考えています。その背景には、2050年には約100億人に達すると予想される人口増加、また、広範な国々で進展すると考えられる高齢化、そうした中で日々厳しさを増していく気候変動、水不足、資源の枯渇など、様々な地球規模の課題が、相互に関連しながら深刻化している現状があります。

わたしたちは、1926年の創業以来、一貫して「社会への奉仕」を存立の基礎とし、素材には社会を変える力があると確信し、今日まで歩んできました。東レグループの使命は、世界が直面する「発展」と「持続可能性」の両立をめぐる様々な難題に対し、革新技术・先端材料の提供によって、本質的なソリューションを提供していくことにあると考えています。

自らの成長によって、世界の持続可能性に負の影響を与えない努力を尽くすとともに、「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」との企業理念の下、全世界のパートナーとともに、パリ協定や国連SDGs（持続可能な開発目標）をはじめとする世界的目標の追求のために、全力を尽くしていきます。

2050年に向け東レグループが目指す4つの世界



地球規模での温室効果ガスの排出
と吸収のバランスが達成された世
界（GHG排出実質ゼロの世界）



資源が持続可能な形で管理される
世界

> 資源循環 “GO
CIRCULAR” 



誰もが安全な水・空気を利用し、
自然環境が回復した世界



すべての人が健康で衛生的な生活
を送る世界

「2030年に向けた数値目標」の進捗

以下の数値目標の達成を目指し、努力を続けていきます。

		2013年度実績 (基準年度)	2024年度実績 (2013年度比)	2030年度目標 (2013年度比)
サステナビリティイノベーション製品の供給※1		5,624億円	2.4倍	4.5倍
バリューチェーンへのCO ₂ 削減貢献量※2		0.4億トン	11.3倍	25倍
水処理貢献量※3		2,723万トン／ 日	2.9倍	3.5倍
生産活動によるGHG 排出量※4	東レグループ全体の 売上高・売上収益原 単位※6	356トン／億円	43%削減※7	50%以上削減
	日本国内の排出 量※5,6	245万トン	28%削減※7	40%以上削減
生産活動による用水使 用量	東レグループ全体の 売上高・売上収益原 単位	14,693トン／億 円	38%削減※7	50%以上削減

※1 ①気候変動対策を加速させる製品、②持続可能な循環型の資源利用と生産に貢献する製品、③安全な水・空気を届け、環境負荷低減に貢献する製品、④医療の充実と公衆衛生の普及促進に貢献する製品。

※2 製品のバリューチェーンを通じたライフサイクル全体でのCO₂排出量削減効果を、日本化学工業協会および国際化学工業協会（ICCA）のガイドラインに従い、東レが独自に算出。

※3 水処理膜により新たに創出される年間水処理量。各種水処理膜（RO/UF/MBR）毎の1日当たりの造水可能量に売上本数を乗じて算出。

※4 世界各国における再生可能エネルギーなどのゼロエミッション電源比率の上昇に合わせて、2030年度に同等以上のゼロエミッション電源導入を目指す。

※5 地球温暖化対策推進法に基づく日本政府の総合計画（2021年10月22日閣議決定）における産業部門割当（絶対量マイナス38%）以上の削減を目指す。

※6 国際的な算定ルールであるGHGプロトコルに則り、経営支配力を乗じた算定方法に変更。

※7 基準年度である2013年度の値は、2014年度以降に東レグループに加わった会社分を含めて算出。

東レグループ サステナビリティ・ビジョン

PDF版ダウンロード [PDF](#)

2050年に向け東レグループが目指す4つの世界



Towards 2050

地球規模での温室効果ガスの排出と吸収のバランスが達成された世界
(GHG排出実質ゼロの世界)

ACTIONS

気候変動対策を加速させるために

温暖化による気温上昇を1.5℃以下に抑制するためには、2050年には二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量が同等となる、いわゆる“カーボンニュートラル”を実現する必要があります。東レグループは、自社製品の製造段階での二酸化炭素排出量削減に加え、省エネルギーや再生可能エネルギー・新エネルギーに利用される関連材料や技術を通じて、軽量化による燃費改善などライフサイクル全体を通じた二酸化炭素排出の抑制（CO₂削減貢献量）や、二酸化炭素を出さない風力発電など再生可能エネルギーや水素の利活用・自動車電動化など新エネルギー社会の構築に貢献していきます。



エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



産業と技術革新の
基盤を作ろう



気候変動に
具体的な対策を



製品のライフサイクル全体を通じたCO₂排出の抑制

軽くて強い炭素繊維。航空機、自動車など用途をさらに拡大し、軽量化による燃費向上でCO₂排出抑制に貢献します。



新エネルギー社会の構築

風力・太陽光などでクリーンなエネルギーを作り、高性能の電池で貯める。さらには水素に転換・貯蔵し、燃料電池で動かす。新エネルギー社会を東レの素材が支えます。



製造段階でのCO₂削減

プロセス改善による省エネの推進、再生可能エネルギーの活用、石炭利用の削減などを通じて、製造段階でのCO₂削減を積極的に推進します。

2050年に向け東レグループが目指す4つの世界



Towards 2050

資源が持続可能な形で管理される世界

ACTIONS

持続可能な循環型の資源利用と生産に貢献するために

持続可能な社会実現には、限りある資源を有効活用と循環利用による持続可能な形で管理される社会の実現、いわゆる循環型社会への移行が必要です。具体的には、石油など化石資源の使用量削減、廃棄プラスチックの削減と再利用、水資源の有効利用や再利用、二酸化炭素の資源化による有効利用など、限りある資源を持続可能な形で利活用していくことです。また、循環型社会への移行は、温暖化や海洋プラスチック問題の解決にも貢献します。東レグループは、植物などバイオ資源の活用によるバイオプラスチックの開発・事業化や、繊維・フィルム・樹脂製品のリサイクル促進、および生産段階での廃棄物削減を通して、循環型社会の実現に貢献していきます。



産業と技術革新の
基盤を作ろう



つくる責任
つかう責任



海の豊かさを
守ろう



非化石資源（バイオ資源）の活用

非可食の植物資源から作る繊維、バイオテクノロジーと膜分離技術を応用したバイオ原料・燃料の創生など、化石資源に頼らない社会を目指します。



製品のリサイクル促進

繊維、樹脂、フィルム、炭素繊維様々な素材を提供するメーカーとして、製品のリサイクルを促進します。



生産現場からの廃棄物削減

資源を有効に活用するとともに、リサイクルを進め、廃棄物の削減に取り組んでいきます。

2050年に向け東レグループが目指す4つの世界



Towards 2050

誰もが安全な水・空気を利用し、自然環境が回復した世界

ACTIONS

安全な水・空気を届け、環境負荷低減に貢献するために

人口増加や農畜産業の発展、工業化により、水質汚染や大気汚染が世界的な課題となっています。これらの問題を解決して、誰もが安全な水・空気を利用でき、自然資本に配慮し、自然との共存による緑豊かな世界の実現が必要です。東レグループは、自社の製造工程に使用する水の使用量を削減・管理し、大気汚染・水質汚染防止に積極的に取り組むとともに、水処理膜技術を活用して安全な水の確保や、高性能エアフィルタによる室内空気環境の改善などを通して、誰もが安全な水・空気を利用できる世界の実現に貢献します。有機溶剤など有害物質の使用量削減技術や、羽毛や皮革などの天然物を代替する材料を通じて、生態系への影響低減に貢献します。また、環境問題への関心を高め、次世代につないでいくために、環境教育にも力を入れています。



飢餓をゼロに



すべての人に
健康と福祉を



安全な水と
トイレを
世界中に



産業と技術革新の
基盤を作ろう



つくる責任
つかう責任



海の豊かさを
守ろう



陸の豊かさも
守ろう



水処理膜により安全な水をつくる

海水淡水化、水の浄化、水の再利用一東レの水処理技術で水不足の解消、環境負荷の低減を目指します。



工場での用水管理と大気汚染・水質汚染の防止

工場での水の再利用、排気・排水の清浄化、化学物質の適正管理等をさらに進めます。とりわけ、水資源が特に貴重な地域においては、取水量を抑制する対策をより一層推進します。



エアフィルタで空気を浄化

東レ独自の極細繊維不織布一繊維1本1本が空気中のゴミを吸着します。各地できれいな空気を提供します。



人々の環境への関心を高める

水不足をはじめとした環境問題への関心を高めるため、教育支援の活動を進めます。

2050年に向け東レグループが目指す4つの世界



Towards 2050

すべての人が健康で衛生的な生活を送る世界

ACTIONS

医療の充実と公衆衛生の普及促進に貢献するために

世界の国々では、先進国のみならず多くの新興国でも、革新的な診断技術や治療薬が求められている一方、医療費の増大や医療現場の負担増大が大きな問題となっています。21世紀の世界においては、健康で自立した生活を維持するためのヘルスケアや公衆衛生、質の高い医療の提供が最重要の共通課題です。

東レは、「すべての人が健康で衛生的な生活を送る世界」の実現に向けて、健康・長寿、医療の質の向上・医療現場の負担軽減、人の安全に焦点を当て、先端材料・革新技術で人々の健康に貢献します。



飢餓をゼロに



すべての人に
健康と福祉を



産業と技術革新の
基盤を作ろう



気候変動に
具体的な対策を



革新技術・先端材料により医療の質を高める

疾病の早期診断や画期的な治療薬の提供などにより、医療の質を高めます。



人々の健康・長寿を支える

年齢と共に変化する身体機能をサポートする製品の提供などを通じ、人々の健康・長寿を支え、QOLを高めます。



人々の安全を守る

異常気象（酷暑等）、災害、事故や感染症から人々の身を安全に守ります。